

# メビオ出身の大阪医科薬科大学卒業生の皆様

メビオは1980年の創立以来、  
大阪・天満橋の地で  
医師を目指す若者たちを支えてまいりました。  
皆さまのご活躍を、  
私たちは誇りに思っております。



お近くへお越しの際は、  
ぜひ当校にお立ち寄りください。

## 大阪医科薬科大学 医学部医学科

最終  
合格者数



11.9日 大阪医科薬科大学模試

12.13日 大阪医科薬科大学攻略講座

12月開講 新学年準備講座  
新高1～高3生対象

最新の模試・講座情報は  
こちらのQRコードから



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

# 大阪医科薬科大学 仁泉会 ニュース

仁泉会ニュース 第56巻第6号

発行所

〒569-8686 高槻市大学町2-7

電話 FAX

072-682-6166 072-682-6636

発行者 発行部数

上野豊 6,300部

URL

http://www.jinsenkai.net



〈お問い合わせ・お申し込み〉

医学部進学予備校

# メビオ

フリーダイヤル



## 0120-146-156

携帯からOK 受付時間9:00～21:00(土日祝可)

大阪府大阪市中央区石町2-3-12

天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分

<https://www.mebio.co.jp/>

校舎にて個別説明会(館内・寮見学)も随時実施しております。

# 目次

## 受賞報告

P3	日本対がん協会賞 令和6年度日本整形外科学会功労賞	岡村信介先生 中島幹雄先生	(学23期) (学30期)
P4	大阪医科薬科大学第21回研究奨励賞	森田奈津子先生	
P6	大阪医科薬科大学第21回研究奨励賞	中村善胤先生	(学62期)

## 支部だより

P8	仁泉会大阪府連合会主催の第2回産業医講習会の報告	福本敏子	(学24期)
P10	令和7年度仁泉会住吉住之江支部会 開催報告	濱崎憲夫	(学42期)
P12	高槻支部総会・懇親会報告	白石将史	(学50期)
P15	京都仁泉会 夏の音楽の夕べ 2025	森本博子	(学24期)
P16	クラス会のご案内		

## 仁泉ひろば

P17	2025年(令和7年)7月 質問状	富中愛一郎	(学27期)
P18	軽音楽部新部長・田中智人先生を囲む会 開催報告	二村吉継	(学49期)

P21	会員著書	飯島崇史先生	(学25期)
P22	会員著書	井尻慎一郎先生	(学31期)
P23	会員著書	熊野宏二先生	(学39期)

## 事業報告

P24	学生生活虎の巻 2025		
P30	新聞切抜	田村 功先生	(学31期)
P31	まんが 第76回	ポン太ールカプセル250mg	(学31期)

## 本部だより

P32	会員計報		
P33	開業しました！ 開業しました！ 編集後記	門田 卓先生 中尾謙太先生	(学56期) (学60期)

そ に こうげん

**表紙写真：黄金色の曾爾高原**

奈良県宇陀郡にあるすすきで有名な高原です。  
夕暮れにはすすきの穂が黄金色になりとても綺麗です。

ひろし

# 受賞報告

令和7年9月19日(金)神戸市中央区で開催の「がん征圧全国大会兵庫大会」にて、公益財団法人日本対がん協会が、がん征圧活動に功績のあった方々に贈る「日本対がん協会賞」を岡村信介先生が受賞されましたので、ご報告申し上げます。

## 日本対がん協会賞 岡村信介 先生(学部23期)

### 日本対がん協会賞について

日本対がん協会設立10周年にあたる1968(昭和43)年に創設されました。がん予防をはじめ、広くがん征圧のための運動、事業、研究に顕著な功績のあった個人と団体、多年にわたって地道な活動を続けてきた個人と団体に贈られます。2024年度までに個人の部で265人、団体の部で133団体が受賞しています。

### 受賞の理由

1994年から姫路市医師会が運営する子宮がん検診車による集団検診に現在も従事し、医療機関が少ない郡部での子宮頸がん検診の受診率向上に貢献した。

1998年4月～2013年3月に市医師会集検(子宮)委員長などを務め、受診率向上のための講演会に積極的に協力。姫路市が子宮頸がん検診でHPV検査単独法を導入する際、行政と医療機関との調整役として中心的役割を担い、実施体制の構築に努めた。

# 受賞報告

令和6年5月22日開催の日本整形外科学会定時社員総会において、中島幹雄先生が功労賞を受賞されましたので、ご報告申し上げます。

### 令和6年度日本整形外科学会功労賞を受賞して

令和6年5月22日の2024年日本整形外科学会定時社員総会において、功労賞を頂きました。推挙して頂いた勤務医会の田尻康人会長、事務局長吉田英彰先生、5年前に日整会監事に推薦して頂いた富士武史先生はじめ、関連の諸先生方に心から感謝申し上げます。

この賞は日整会の監事を4年務めたことが大きな要素となって頂いたものです。大阪医科薬科大学の同門では、同門会長を務められた大橋規男先生、服部良治先生、大阪府医師会長を務められた茂松茂人先生に次いで4人目ですが、勤務医としては初の受賞のようです。監事は2期4年務めましたが、理事長や理事の先生方の苦勞に比べたらはるかに少ない労力で、本当に頂いて良いのか、今でも申し訳ない気持ちを拭えないです。ただ、選出して頂いた勤務医会の名に恥じないように、理事会ではかなり集中して議事に参加させて頂きました。日整会の最高機関の成熟した議論を経験させて頂いて、その都度の日整会の基本方針を知ることができましたことは私自身の大きな経験になりました。これからも私自身の関与する領域で、学会の活動指針など



を紹介していく役目を果たすつもりでおります。

まだまだ沢山の人工関節、骨切り術に携わっておりますので、若い世代の先生方には、我々の世代が遭遇した過去の失敗と同じような過ちに陥らないように、過去の苦い経験を紹介し、反省点と対策を考えていく使命があります。この賞を頂いたことを契機として、これからの私の使命を再認識し、微力ながら次代のために責任を果たしていく所存です。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

中島幹雄 (学30期)

## 受賞報告

大阪医科薬科大学第21回研究奨励賞を受賞された、産婦人科助教 森田奈津子先生の表彰が行われました。

先生の受賞論文をご紹介します。

### 論文紹介

#### 【論文名】

Intravenous injection of iPS cell-derived endothelial progenitor cells prevents miscarriage by releasing pro-angiogenic factors in a mouse model of recurrent spontaneous abortion

#### 【投稿論文雑誌名】

Bulletin of Osaka Medical and Pharmaceutical University (Vol.69 No.1: 21-30, 2023)

#### 《背景》

自然流産とは、妊娠における最も一般的な合併症であり、原因として加齢、染色体異常、内分泌異常、子宮奇形、感染症、自己免疫疾患などが挙げられるが、約半数は原因不明と言われており、それらに対する治療は確立されていない。妊娠初期の母体においては、胎盤での血管形成や子宮らせん動脈のリモデリングが、胎盤形成および胎児発育に必要不可欠であるため、胎盤形成不全は流産の危険因子の1つである。胎盤形成に必要な血管形成には、主に胎生期に見られる新規の脈管形成と、既存の血管における、血管新生促進因子による血管新生の2つのプロセスが存在する。血管内皮前駆細胞 (Endothelial progenitor cell :EPC) は、両者に関与する未熟な内皮細胞と言われ、これまでも多くの血管再生療法に関する研究で使用されており、我々の研究グループは、以前にマウス胚性幹細胞由来EPC (Embryonic stem cell derived endothelial progenitor cell:ES-EPC) を用いて流産モデルマウス (CBA/J 雌マウス ×DBA/2 雄マウス) で流産率が改善することを報告した。

#### 《目的》

胚性幹細胞を使用することは倫理面からの問題も大きく、本研究では、臨床応用を見据えてヒト人工多能性



幹細胞由来 EPC (human induced pluripotent stem cell derived endothelial progenitor cell:hiPS-EPC) が流産モデルマウスにおける流産率を改善できるかどうか検討することを研究目的とした。

#### 《学術的な特徴・独創的な点》

本研究では、再生医療の発展を担うiPS細胞を用いて治療法の確立されていない原因不明の流産に対する治療法の検討を行った。胎盤における血管形成が妊娠継続に非常に重要であること、またEPCがこれまでも数多くの血管形成に関する研究で用いられていることにも着目して研究を行った。これまでに妊娠マウスに対するhiPS-EPCの治療効果を検討した研究はなく、臨床応用を見据えた形で研究を行った点において非常に有用な研究であったと考える。異種間細胞投与であったこと、またiPS細胞の癌化の懸念など、今後さらなる検討が必要な点も多いが、それらも妊娠中の免疫寛容の解明やiPS細胞研究の発展に必要不可欠であり、長期的に見ても将来性のある研究である。

#### 《抄録》

自然流産とは、妊娠における最も一般的な合併症の1つであるが、約半数は原因不明であり、それらに対する治療法は確立されていないのが現状である。妊娠に

おける胎盤形成は胎児発育に必要不可欠で、妊娠初期の胎盤での血管形成不全は流産の危険因子となる。血管形成には、主に胎生期に見られる新規の脈管形成と、既存の血管における血管新生の2つのプロセスが存在し、血管内皮前駆細胞 (Endothelial progenitor cell :EPC) は、両者に関与する未熟な内皮細胞である。我々の研究グループは、以前にマウス胚性幹細胞由来EPCを用いて流産モデルマウスで流産率が改善することを報告したが、倫理面での問題も大きかったため、本研究では、ヒト人工多能性幹細胞由来EPC (human induced pluripotent stem cell derived endothelial progenitor cell:hiPS-EPC) による流産率改善効果とそのメカニズムについて検討した。まずhiPS細胞からのEPCの分化誘導および細胞特性解析を行った。hiPS細胞よりプロトコルに従ってEPCへの分化誘導を行い、分化2日目、5日目、8日目の細胞からRNAを抽出し、RT-qPCRで各種マーカーの発現レベルをhiPS細胞と比較検討した。未分化関連マーカー (Oct-4、Nanog) は分化2日目より有意に低下した。またEPC関連マーカーであるCD31・CD34・KDRは分化5日目より有意に増加した。幹細胞関連マーカーであるCD133は、分化誘導日数による有意な発現レベルの変化は見られなかったが、分化5日目以降に増加する傾向が見られた。フローサイトメトリーでも、分化5日目のCD31・CD34陽性細胞の誘導を確認した。血球系マーカーであるCD45陽性細胞は見られなかった。さらに分化5日目の細胞で血管形成能を有することを確認した。次に流産モデルマウス (CBA/J 雌マウス ×DBA/2 雄マウス) における流産率の検討を行った。CBA/J 雌マウスをDBA/2 雄マウスと交配させ、妊娠6.5-7.5日目にhiPS-EPC ( $5 \times 10^5$  個 /PBS 200 $\mu$ l)、またはPBS (200 $\mu$ l) を尾静脈投与した。妊娠13.5-14.5日目に安楽死させ、胎仔と胎盤を摘出して流産率を検討したところ、hiPS-EPC群 (n=7) で27.1%、PBS群 (n=6) で13.6%とhiPS-EPC投与後のマウスにおける細胞の局在を同定するためにGFP (Green fluorescent protein) 標識iPSCを作製し、EPC (GFP-EPC) に分化させ、妊娠7.5日目の妊娠マウスにGFP-EPCまたはPBSを尾静脈投与した。

投与3時間後・72時間後 (妊娠10.5日目) に妊娠マウスを安楽死させて子宮を摘出した。投与3時間後ではすべての胚はほぼ同じ大きさで、GFP-EPC群とPBS群との胚数に差は見られなかった。投与72時間後 (妊娠10.5日目) ではGFP-EPC群でPBS群と比較して胚が大

きかったが、PBS群では一部の胚が小さく、出血を伴っていた。このような異常胚はGFP-EPC群で有意に少なかった (P=0.026)。また組織透明化技術および免疫染色法 (GFP、CD31、DAPI) を用いて子宮における血管形成の3次元構築を行った。GFP-EPC群では投与3時間後にCD31染色で可視化された、胚に隣接する子宮血管系でGFP染色細胞が検出されたが、PBS群では特異的なGFPシグナルは観察されなかった。さらにGFP-EPC投与72時間後 (妊娠10.5日目) および投与168時間後 (妊娠14.5日目) でも同様に観察したが、子宮、胚、胎盤のいずれにおいてもGFPシグナルは観察されなかった。hiPS-EPCによる直接的な血管形成は確認できなかったことから、次にEPCの血管新生促進因子産生作用に着目した。hiPS-EPCの細胞からRNAを抽出し、RT-qPCRで血管新生促進因子の発現レベルを確認したところ、VEGF、PlGFが有意に増加していた。マウスの胎盤形成初期は妊娠9.5日目から10.5日目と言われていることから、妊娠10.5日目の胎盤においても血管新生促進因子の発現レベルを確認した。妊娠10.5日目のマウスを安楽死させ、採取した胎盤からRNAを抽出し、RT-qPCRを行ったところVEGF、PlGFの発現が有意に増加していた。以上の結果より、hiPS細胞より分化誘導した細胞は、分化2日目には多能性状態から脱した細胞であり、分化5日目には血管形成能を有する血管内皮前駆細胞 (hiPS-EPC) に分化していると考えられた。流産モデルマウスに対するhiPS-EPCの尾静脈投与では、流産率が低下し、投与した細胞は胚付近に一時的に局在していることが示された。胎盤におけるVEGF、PlGFの発現も増加しており、これらの結果からhiPS-EPCの尾静脈投与では血管新生促進因子を産生することによって促される、血管新生のプロセスによってその後の胎盤形成および成熟に関与し、流産率を改善させると考えられた。hiPS-EPCは治療法の確立されていない流産に対して有用である可能性がある。



## 受賞報告

大阪医科薬科大学第21回研究奨励賞を受賞された、内科学IV教室脳神経内科助教 中村善胤先生(学62期)の表彰が行われました。

先生の受賞論文をご紹介します。

### 論文紹介

#### 【論文名】

Neuronal activity promotes secretory autophagy for the extracellular release of  $\alpha$ -synuclein

#### 【投稿論文雑誌名】

Journal of Biological Chemistry  
(300巻(7号):107419頁, 2024年)

#### 《背景》

パーキンソン病は運動緩慢、筋強剛、静止時振戦といった運動症状を主徴とし進行性の経過をとる神経変性疾患である。病理学的には黒質線条体ドパミン神経細胞の変性とレビー小体と呼ばれる神経細胞内異常構造物の出現を特徴とする。レビー小体の主要構成成分は凝集した $\alpha$ -シヌクレイン( $\alpha$ S)である。現在のレボドパ製剤を中心とする治療は脳内で不足したドパミンを補うものであり、神経細胞の変性を抑制する効果はない。そのため、神経変性を抑制する根本的な治療法開発が喫緊の課題となっている。

パーキンソン病の病態機序において、 $\alpha$ Sが凝集し神経毒性を発揮すること、凝集した $\alpha$ Sが細胞間を伝播し脳内を拡大していくことが重要であると考えられている。そのため、 $\alpha$ Sの凝集や細胞間伝播の機構を明らかにすることが治療法開発において重要と考えられている。

#### 《目的》

$\alpha$ Sの凝集にはタンパク質恒常性の破綻が関与している。タンパク質恒常性維持には細胞内における分解と細胞外への分泌が関与している。一方、 $\alpha$ Sの細胞間伝播には細胞内への取り込みと細胞外への分泌が関与している。このように、 $\alpha$ Sの細胞外分泌は $\alpha$ Sの凝集と細胞間伝播の両方の機構に関わる重要な因子と考えられる。最近、神経活動亢進が $\alpha$ Sの細胞外分泌を促進することが報告されたがその機序は明らかにされておらず、 $\alpha$ Sの細胞外分泌には不明な部分が多く残されている。



オートファジーは細胞内構造物の分解を担う機構として主に調べられてきたが、近年細胞外への分泌も担うことが明らかにされ分泌型オートファジーとして注目を集めている。そこで、神経活動亢進が分泌型オートファジーを介して $\alpha$ Sを細胞外に分泌しているかどうか確かめることを目的として研究を進めた。

#### 《学術的な特徴・独創的な点》

本研究において、神経活動亢進が細胞内Ca<sup>2+</sup>依存性に分泌型オートファジーによる $\alpha$ S細胞外分泌を促進することを示した。また、分泌型オートファジーによる $\alpha$ S細胞外分泌はタンパク質恒常性維持に関与している可能性を示した。これらの知見は分泌型オートファジーによる $\alpha$ S細胞外分泌がパーキンソン病の病態に関与している可能性を初めて見出したものである。分泌型オートファジーを標的としたパーキンソン病の新たな治療法開発につながる可能性がある。

また、本研究ではタウやSOD1といったタンパク質も神経活動亢進による分泌型オートファジーで細胞外に分泌されることを初めて示した。タウはアルツハイマー病、SOD1は筋萎縮性側索硬化症の病態に深く関与するタンパク質である。本研究で明らかにした神経活動亢進による分泌型オートファジーは神経変性疾患の病態に共通した機序である可能性も示唆され、パーキンソン病以外の神経

変性疾患の病態解明にも寄与する可能性がある。

さらに、神経活動亢進が分泌型オートファジーを促進するという機構を初めて明らかにしたということで、Autophagy report誌から寄稿の依頼を頂いた。このように、本研究の結果は $\alpha$ Sからの観点のみならず、オートファジーの観点からも注目されている点の特徴である。

#### 《抄録》

パーキンソン病の病態には $\alpha$ -シヌクレイン( $\alpha$ S)の凝集と細胞間伝播が深く関与している。タンパク質恒常性の破綻により $\alpha$ Sの凝集が起こると考えられるが、タンパク質恒常性維持には細胞内における分解と細胞外への分泌が関与すると考えられる。細胞間伝播には細胞内への取り込みと細胞外への分泌が関与する。このように、 $\alpha$ Sの細胞外分泌は両方の機構に関わる重要な因子である。最近、神経活動亢進が $\alpha$ Sの細胞外分泌を促進することが報告されたがその機序は不明である。オートファジーは細胞内構造物の分解を担う機構として調べられてきたが、近年細胞外への分泌も担うことが明らかとなり分泌型オートファジーと称され注目されている。そこで神経活動亢進が分泌型オートファジーを介して $\alpha$ Sの細胞外分泌を担っているかマウス大脳皮質初代神経細胞とSH-SY5Y細胞を用いて調べた。

グルタミン酸刺激と高濃度KClによる脱分極刺激に伴う神経活動亢進は $\alpha$ Sの細胞外分泌を促進した。Ca<sup>2+</sup>イオノフォアも $\alpha$ Sの細胞外分泌を促進した。グルタミン酸刺激による $\alpha$ S細胞外分泌はNMDA受容体拮抗薬、AMPA受容体拮抗薬、細胞内Ca<sup>2+</sup>キレート剤であるBAPTA-AMで抑制された。オートファジー促進作用のあるmTOR阻害薬ラパマイシンは $\alpha$ Sとp62の細胞外分泌を促進し、この促進効果はオートファゴソーム形成に必須の因子で

あるBeclin 1をノックアウトしたマウスの初代神経細胞において抑制された。また、グルタミン酸刺激による $\alpha$ S細胞外分泌はオートファゴソーム形成に必須の因子であるATG5をノックダウンした細胞において顕著に抑制された。

一方で細胞内の $\alpha$ Sは増加した。タウやSOD1といったアルツハイマー病や筋萎縮性側索硬化症に関わるタンパク質もグルタミン酸刺激によって細胞外分泌が促進され、ATG5ノックダウンによってその促進効果が抑制された。

グルタミン酸刺激は初代神経細胞においてLC3-II増加とp62低下を誘導しておりオートファジーを促進すると考えた。この促進効果はBAPTA-AMによって抑制された。さらに、グルタミン酸刺激は初代神経細胞において $\alpha$ SとオートファゴソームのマーカであるLC3の共局在を増加させた。一方、リソソームのマーカであるLAMP1との共局在は増加させなかった。細胞外分泌物を超遠心法において細胞外小胞分画と非細胞外小胞分画に分けて解析したところ、グルタミン酸刺激による $\alpha$ S細胞外分泌促進効果はいずれの分画においても認められた。ユビキチン化された $\alpha$ Sはリソソームへ運ばれるが、ユビキチンを過剰発現させた細胞の分泌物を免疫沈降法によって解析したところ、細胞外に分泌された $\alpha$ Sはユビキチン化されていなかった。グルタミン酸刺激による $\alpha$ Sとp62細胞外分泌促進効果は、オートファゴソームと細胞膜の融合を担うRAB8Aノックダウンにより抑制された。

これらより、神経活動亢進は細胞内Ca<sup>2+</sup>依存性に分泌型オートファジーによる $\alpha$ -シヌクレイン細胞外分泌を促進すること、 $\alpha$ Sの細胞外分泌のキャリアとしてオートファゴソームが関与していることが示された。分泌型オートファジーによる $\alpha$ S細胞外分泌を抑制すると細胞内の $\alpha$ Sが増加するという結果からは、分泌型オートファジーも $\alpha$ Sのタンパク質恒常性維持に関わっていることが示された。

## 受賞・受章の際は編集部にお知らせください

各地での喜びの受賞・受章等がございましたら、事務局あてに書面、新聞などをお送り下さい。  
FAX、メールでのお知らせも歓迎いたします。本誌にて広く紹介させていただきます。 編集部

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636  
e-mail / jimuj@jinsenkai.net

# 支部だより

## 仁泉会大阪府連合会主催の 第2回産業医講習会の報告

文責／福本敏子（学24期）

令和7年8月2日（土）に当会主催の第2回産業医講習会を大阪府医師協同組合8Fホールにて開催しましたので、報告いたします。

今回も多くの先生方に受講いただき無事に終了することができました。159名の申し込みがあり、146名の方々が受講してくださいました。

講演の第1席は近畿大学医学部整形外科教授・運動器外傷センター長の**大谷和裕先生**が「勤労者の手関節周囲の障害とその予防と治療」について詳細にご講演くださいました。多くの写真をお示しいただき整形外科学会のご発表のようにレベルの高い内容をわかりやすくご説明いただきました。勤労者に対し、より適切なアドバイスをさせていただけるものと感じました。第2席は同

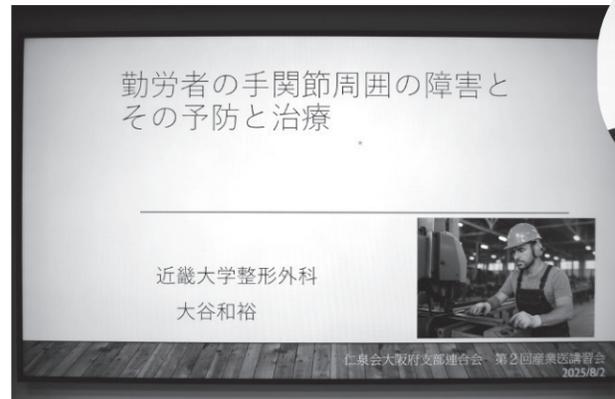
窓の大阪精神医学研究所 新阿武山病院の**森本一成先生**が「知っておきたい職場のメンタルヘルス」についてご講演くださいました。時にはユーモアを交え、重い内容を明るくわかりやすくお話くださいました。講演の最後には eラーニングや便利なサイトもご紹介いただきました。

前回に引き続き参加してくださいました先生方も多く、講習会の前後には同窓の旧交を温める風景が多くみられました。台風の直撃を心配しましたが、無事に開催することができ、多くの先生方が厳しい暑さの中、参加くださり、お世話する者として安堵しています。

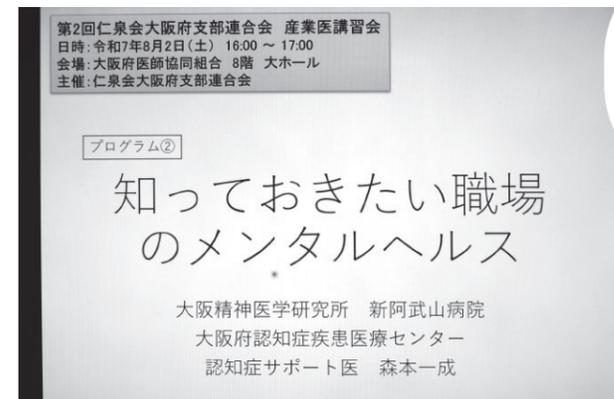
次回は来年2月14日（土）午後3時から同じ会場で開催いたします。講師は日本産業保健学会や日本医師会の産業医部会の委員を務められ、「産業医が法廷に立つ日」など多数の産業保健関係の著書を持たれる近畿大学教授・**三柴丈典先生**に講演をお願いしています。

ご案内をご希望の先生方は、申し込みフォームからお早目の予約登録をお願いいたします。

今後とも、仁泉会大阪府支部連合会の会務にご協力ご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。



大谷和裕先生



森本一成先生

## 第3回仁泉会大阪府支部連合会 産業医講習会 開催のご案内

- ・開催日時：令和8年2月14日（土）午後3時から午後5時まで
- ・会場：大阪府医師協同組合 8階 大ホール  
〒542-8580 大阪府中央区上本町西3丁目1番5号
- ・受講料：仁泉会会員 3,000円
- ・参加資格：日本医師会認定産業医
- ・受講予定数：160名
- ・内容：〈プログラム①(演題・講師) 午後3時～午後4時〉  
演題：「職場のメンタルヘルス ～休復職へのサポート」  
講師：医療法人悠仁会 稲田クリニック 院長 稲田泰之先生  
〈プログラム②(演題・講師) 午後4時～午後5時〉  
演題：「メンタルヘルスと「生きた法」～基本的な対応モデルと3つの注目すべき判例～」  
講師：近畿大学 法学部 教授 三柴丈典先生
- ・単位数：2単位 生涯研修（専門）2単位
- ・申込み等：

事前受付：「仁泉会大阪府支部連合会 産業医講習会（2月14日）受講希望」と明記し、氏名（ふりがな）、医籍登録番号、認定産業医番号、所属（医療）機関名、受講票送付先住所、電話番号、FAX番号、e-mailアドレスを記入の上、仁泉会事務局まで FAX（072-682-6636）又は仁泉会ホームページ web 申込フォームより受付。受講料は事前振込になります。



（申込フォーム）

問合せ先：仁泉会事務局（tel：072-682-6166 e-mail：info@jinsenkai.net）

# 支部だより

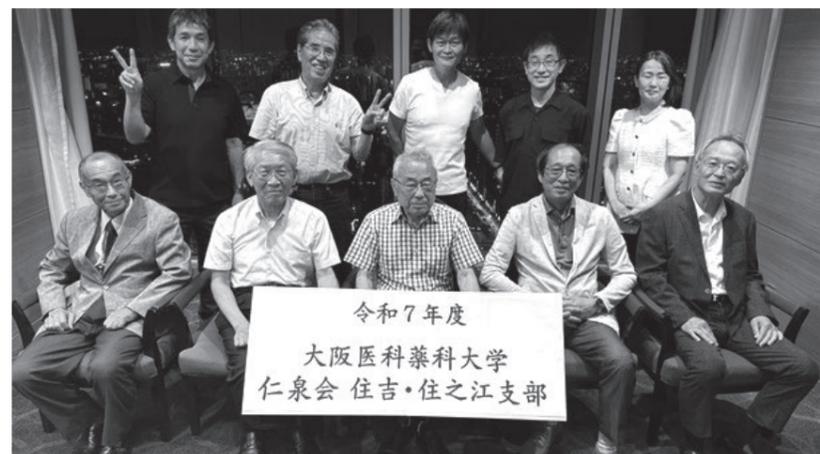
## 令和7年度 大阪医科薬科大学仁泉会 住吉住之江支部会 開催報告

文責／住吉住之江支部長 濱崎憲夫（学42期）

まず初めに、令和7年度住吉住之江支部会の開催報告が遅くなりましたことを、謹んでお詫び申し上げます。

令和7年6月21日（土）、大阪・天王寺あべのハルカス「マリオット都ホテル 星空の間」にて、長らく中断しておりました大阪医科薬科大学仁泉会住吉住之江支部会を無事に開催いたしました。

この数年、コロナ禍の影響により開催を見合わせておりましたが、仁泉会大阪府支部連合会会長霜野良一先生（28期）より、「お前、いつまでコロナ禍を鑑みとんじゃ！はよ開催進めんかい！」との熱い叱咤激励を賜り、今回の開催に至った次第です。



当日は霜野先生より開会のご祝辞も頂戴し、力強く温かなお言葉で、会の幕開けを華やかに彩っていただきました。

なお、開催案内状において会場名「マリオットホテル」を誤って「マリオネットホテル」と記載してしまい、一部の先生方に混乱を招いてしまいましたことを深くお詫び申し上げます。中でも竹安一郎先生（43期）には、天王寺・茶臼山方面にある“マリオネット風”のいかげわしいホテルに足を運ばれてしまうというハプニングがあり、大変申し訳なく存じます。

【ご参加いただいた先生方】（敬称略・期順）

- ・磯田幸太郎（22期）イソパソ病理研究所
- ・柿本祥太郎（24期）南大阪病院 理事長
- ・宮越一穂（25期）南大阪病院 名誉院長
- ・霜野良一（28期）しもの内科・内視鏡クリニック
- ・李 鍾甲（31期）李クリニック
- ・岩垣明隆（34期）いわがき内科クリニック
- ・森 保彦（42期）こどもクリニック 森
- ・濱崎憲夫（42期）健正会 浜崎医院
- ・竹安一郎（43期）竹安眼科医院
- ・濱崎享子（46期）健正会 はまさき



会の途中からは、参加された先生方より、現在の診療状況や医療現場における課題などについて、率直かつ熱意あふれるお話を伺うことができました。

- ・宮越一穂先生は、南大阪病院にて後進の指導にあたられながら、現在は診療そのものを楽しんでおられる様子を、終始笑顔で語られました。
- ・柿本祥太郎先生は、理事長として病院経営に取り組まれる中で、臨床への情熱との間で日々葛藤されている胸の内を率直に語られました。それでも最後には「でも、頑張るぜ」と力強く締めくくられ、自然と会場から拍手が湧き起こりました。
- ・磯田幸太郎先生は、「人と話すのが苦手な病歴に進んだ」とのユニークなエピソードを披露され、現在は毎日楽しく“診察?”していると語られ、会場は和やかな笑いに包まれました。
- ・霜野良一先生は、御子息がクリニックをリフォームし継承して開業されるとの嬉しいご報告があり、「息子に最低賃金で雇われて一緒に診察するんや」と、大変嬉しそうに語られていたのが印象的でした。
- ・李 鍾甲先生は、コロナ感染により重症化し、酸素吸入・入院加療を受けられたご経験をお話くださいました。無事回復された今は、命の重みをより強く感じながら診療にあたっておられるとのことでした。
- ・岩垣明隆先生は、学生時代にサッカー部で全国遠征された思い出を懐かしく語られ、現在も健脚を活かし、高齢者診療時の介助に役立てておられるとのこと。部活動に真摯に打ち込んだ日々が今も大切な記憶として残っていると、目を輝かせて語っておられました。
- ・森 保彦先生は、AI診療が現実となりつつある中で、「AIを使いこなす医師であることの重要性」を意識しながら日々診療にあたっておられるとのことでした。

その姿勢に多くの共感が寄せられました。

- ・竹安一郎先生は、「加齢の影響で視力が落ち、手元も危うくなってきたので眼科手術をやめようかと…」と冗談交じりに語られたところ、すかさず宮越先生と柿本先生から「うち（南大阪病院）で手術せいや！」とツッコミが入り、会場は大きな笑いに包まれました。
- ・濱崎享子先生は、諸先輩方の前向きなお話に感銘を受けたと語り、「今後も皆さんに喜んでいただけるような支部会を開催してまいりますので、ぜひご参加ください」と締めくくられました。

私・濱崎憲夫からは、アカデミックな報告こそございましたが、昨年、還暦を迎える直前に住吉公園野球場にて“現役野球選手”として柵越えのホームランを打ったことを、どうしても自慢したく、ご報告させていただきました。

会の終盤には、当初ビンゴゲームを予定しておりましたが、先生方のスピーチがあまりにも盛り上がったため、時間が押してしまい急遽「じゃんけん大会」に変更。

これがまた予想以上に盛り上がり、白熱した勝負の末、見事優勝された柿本祥太郎先生（24期）には、1等賞としてご用意していたサントリー「山崎12年」のボトルを贈呈いたしました。優勝が決まった瞬間、「よっしゃー！」と叫ばれ、満面の笑みでボトルを抱えられる柿本先生のお姿が、会の楽しい締めくりとなりました。

当日は誠に有意義で楽しいひとときとなり、時の経つのも忘れるほどでした。

「もっと早く再開していればよかった」と、準備全般を担ってくれた妻・享子と話しておりました。現在は新年会の開催に向けた準備も進めており、今後も支部会を継続し、同窓の絆を一層深めてまいりたいと存じます。

ご参加賜りました先生方、またご協力いただきました皆さまに、改めまして心より御礼申し上げます。

## 支部長交代のお知らせ

<川西支部>  
前支部長 土肥恒夫 先生（学28期） → 新支部長 織田行雄 先生（学37期）

# 支部だより ●●●●

## 高槻支部総会・懇親会報告

文責／白石将史（学50期）

令和7年6月21日（土）、ホテルアベストグランデ高槻で令和7年度仁泉会高槻支部総会が開催されました。梅雨の時期でしたが晴天に恵まれ、御来賓20名、会員39名、特別会員3名、高槻支部特別会員4名の計66名の先生にご出席して頂きました。

総会では合田公志先生が司会を務め、始めに支部長 保田 浩先生よりご挨拶を頂き、次に仁泉会理事長 上野 豊先生よりご来賓のご挨拶と仁泉会の現状のご報告を頂きました。総会議事として合田公志先生より令和6年度収支決算の説明があり承認されました。



保田支部長(左) 上野 豊 仁泉会理事長(右)



大阪医科薬科大学  
神経精神医学教室教授  
金沢徹文先生

特別講演では座長を新井基弘先生が務め、大阪医科薬科大学神経精神医学教室教授 金沢徹文先生より「人類の進化と心の起源」という演題でご講演を賜りました。講演内容は、種の起源、人類の進化から精神疾患、心について遺伝子研究を交えながら興味深く、分かりやすくご講演頂きました。人類は進化の過程で、魚を食べることでDHAを摂取し脳が大きくなり、石を使うことで獲物を狩れるようになり、集団で生活することで定住して農業ができるようになり、適者生存の原則でヒトに進化した。進化の過程で、ネアンデルタール人の遺伝子の1~4%が現世人類に残っており、ネアンデルタール人と現世人類の疾患の遺伝子を比較すると統合失調症の遺伝子セットのみがネアンデルタール人の遺伝子と相関があった。「汚染された水により感染症で死ぬこと」は進化の過程で経験しており、ヒトは「臭い水は危ないこと」は教わらずとも遺伝的に理解している。「水が汚い」と心配できるものが生き残ってきたが、心配しすぎることで不安神経症や強迫性障害が発症する。ダーウィンは「他者と共感できる個体を最も有する集団が、最も栄えより多くの子孫を残す」と述べており、子孫繁栄には共感が大切である。共感できない人を我々はサイコパスと呼び異質と扱う。このように進化の過程で生じる不安感や共



佐野浩一  
理事長・学長



勝間田敬弘  
病院長



南 敏明  
副学長

感などの複雑な心の動きが、精神疾患の発症に関与する。最後に「優しく共感的で利他的だからこそヒトは生き残ってきた」と締めくくられました。

続いての懇親会は、白石将史が司会を務めさせて頂きました。ご来賓代表挨拶として大阪医科薬科大学理事長・学長 佐野浩一先生、大阪医科薬科大学病院長 勝間田敬弘先生、大阪医科薬科大学副学長 南 敏明先生よりご挨拶を賜りました。続いて高槻市医師会会長 保田 浩先生より、医師会運営において仁泉会会員には多大なご協力を頂いていること、大阪医科薬科大学とは今後とも密に連携を取っていくことを話されました。



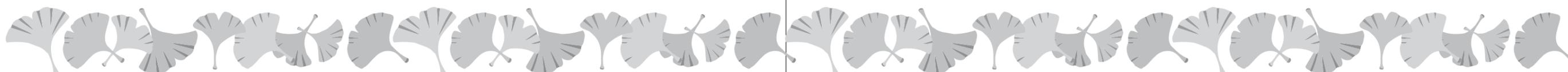
小野秀太先生

乾杯のご発声を小野秀太先生より賜り、しばし歓談の後、母校教授にご挨拶をして頂きました。佐浦隆一先生（リハビリテーション医学）、高須 朗先生（救急医学）、近藤洋一先生（解剖学）、伊藤隆英先生（医学教育センター）、中野隆史先生（微生物学・感染制御学）、萩森伸一

先生（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）、小野富三人先生（生理学）、鰐渕昌彦先生（脳神経外科学）、上田英一郎先生（クオリティ・インディケーター管理室）、河野武弘先生（輸血室）、森田英晃先生（内科学Ⅲ）、喜田照代先生（眼科学）、大槻周平先生（整形外科）、藤阪保仁先生（腫瘍内科学）、金沢徹文先生（神経精神医学）、塗 隆志先生（形成外科学）より賜りました。

続いて長寿のお祝いを、  
卒寿：市岡五道先生、東原康雄先生に、  
米寿：川部由巳先生、原 卓司先生に、  
傘寿：石河清彦先生、坂中 勝先生、平野敏行先生、宮城建雄先生に、  
喜寿：小西和孝先生、高松順太先生、難波 健先生、西本 孝先生に、  
古希：後山尚久先生、清水 篤先生、土居宗算先生、柳川敏夫先生にさせて頂き、代表して石河清彦先生よりご挨拶を頂きました。

新入会員など初参加の先生方のご挨拶を、本郷仁志先生のご紹介で、中島久和先生、大関ゆか先生、野呂恵起先生より頂きました。最後に閉会の挨拶を新井基弘先生より頂きました。



コロナ禍もあけ、今年は多くの先生方にお集まり頂き、盛大に高槻支部総会を開催することができましたことを役員一同大変喜ばしく思っております。高槻支部は母校のお膝元にあり、これからも母校の先生方と密に協力して地域医療に貢献していく所存でございます。今後ともよろしくお願い致します。



〈出席者〉

ご来賓

- 上野 豊先生 (仁泉会理事長 学27期)
- 佐野浩一先生 (大阪医科薬科大学理事長・学長 学29期)
- 勝間田敬弘先生 (大阪医科薬科大学病院長)
- 南 敏明先生 (大阪医科薬科大学副学長 学36期)
- 佐浦隆一先生 (リハビリテーション医学)
- 高須 朗先生 (救急医学 学35期)
- 近藤洋一先生 (解剖学)
- 伊藤隆英先生 (医学教育センター 学38期)
- 中野隆史先生 (微生物学・感染制御学 学38期)
- 萩森伸一先生 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 学38期)
- 小野富三人先生 (生理学)
- 鰐淵昌彦先生 (脳神経外科学)
- 上田英一郎先生 (クオリティ・インディケーター管理室 学40期)
- 河野武弘先生 (輸血室 学41期)
- 森田英晃先生 (内科学Ⅲ 学44期)
- 喜田照代先生 (眼科学 学45期)
- 大槻周平先生 (整形外科学 学47期)
- 藤阪保仁先生 (腫瘍内科学 学47期)
- 金沢徹文先生 (神経精神医学 学49期)
- 塗 隆志先生 (形成外科学 学52期)

支部会員 (敬称略)

- |               |                |                |
|---------------|----------------|----------------|
| 丸山俊郎 (学 12 期) | 保田 浩 (学 31 期)  | 森内宏充 (学 45 期)  |
| 小野秀太 (学 17 期) | 岡村武彦 (学 32 期)  | 辻雄一郎 (学 47 期)  |
| 伊藤正尚 (学 18 期) | 新井基弘 (学 36 期)  | 西原賢太郎 (学 47 期) |
| 石河清彦 (学 20 期) | 植田直樹 (学 36 期)  | 峰崎昭仁 (学 47 期)  |
| 木野昌也 (学 20 期) | 本郷仁志 (学 38 期)  | 松本浩明 (学 48 期)  |
| 大津弥平 (学 21 期) | 下村裕章 (学 38 期)  | 紀 貴之 (学 50 期)  |
| 後藤研三 (学 21 期) | 合田公志 (学 42 期)  | 白石奈々子 (学 50 期) |
| 高松順太 (学 21 期) | 後藤昌弘 (学 42 期)  | 白石将史 (学 50 期)  |
| 襟原茂之 (学 22 期) | 川部伸一郎 (学 43 期) | 大関道薫 (学 56 期)  |
| 小林一朗 (学 29 期) | 小林稔弘 (学 43 期)  | 奥平 尊 (学 56 期)  |
| 梁 壽男 (学 29 期) | 富田誠司 (学 43 期)  | 城戸晴規 (学 56 期)  |
| 豊田昌夫 (学 30 期) | 中島久和 (学 44 期)  | 大関ゆか (学 57 期)  |
| 稲毛昭彦 (学 31 期) | 市岡従道 (学 45 期)  | 野呂恵起 (学 63 期)  |

特別会員 (敬称略)

- 澤田賢市 (昭和53年卒)
- 西野弘志 (昭和59年卒)
- 大西恭子 (平成12年卒)

高槻支部特別会員 (敬称略)

- 竹内 望 (平成5年卒)
- 森田英次郎 (平成8年卒)
- 竹内利寿 (平成10年卒)
- 田辺敏明 (平成10年卒)

# 支部だより ●●

## 京都仁泉会 夏の音楽の夕べ 2025

文責 / 森本博子 (学 24 期)

8月の最終日曜日、31日に京都仁泉会の30年以上続く恒例の夏の音楽の夕べがホテルオークラ京都で開催されました。今年の夏は、50-50 (猛暑日ー 熱帯夜) を2年連続して京都市は達成したという報道があったとおり、当日も厳しい暑さに見舞われましたが、31名の方が参加されました。

今年はチェロとハープという組み合わせで弦楽器の調べを楽しみました。チェロ奏者は日本センチュリー交響楽団の首席チェロ奏者の北口大輔さん、ハープ奏者は関西を中心にソロとしてまたオーケストラとの共演で活躍されている山路利保さんでした。

チェロの力強い音色とハープの柔らかな音色とが調和し素晴らしい調べでした。チェロの演奏で有名なサンサーンスの '白鳥' から始まり、次から次と演奏されましたが、圧巻はヴァイオリンの超技巧曲で知られるパガニーニ作曲の 'モーゼ幻想曲' でした。チェロで演奏するのも高度な技術が必要とされる曲の演奏が始まると、会場全体が緊張感にあふれ演奏が終わると割れんばかりの拍手でした。最後は誰もが聴いたことのあるマスネ作曲の 'タイスの瞑想曲' でコンサートが締めくくられました。

演奏の後、北口さん、山路さんも加わっていただいて集合写真を撮りました。



引き続き懇親会となりました。塩見聡史副会長の司会でまず内田 實先生が壇上に上がり、この一年間に鬼籍に入られた上原従正先生、森本英夫先生のご冥福を祈り献杯が捧げられました。ホテルオークラの食事をいただきながら各テーブルでは話がはずんでいました。この会にご家族の参加大歓迎ですので今回も6名のご家族が参加され、会場の雰囲気が一層和やかに晴れやかになりました。

最後に北岡治子副会長のご挨拶がありました。次回11月15日の学術講演会のご案内があり、参加を呼びかけられ、お開きとなりました。

参加者 (敬称略)

- 内田 実夫妻・太田 稔 (学12期)、中部瞭子 (学13期)、
- 島田真久夫妻・杉之下公子 (学14期)、今村喜久子 (学17期)、
- 竹内宏一 (学18期)、舟木 亮夫妻 (学22期)、
- 竹中 洋夫妻・田代 博夫妻・西本 孝 (学23期)、
- 森本博子 (学24期)、浅野明美 (学25期)、水谷均夫妻 (学26期)、
- 堀口典子 (学27期)、蘆田 潔・蘆田ひろみ・北岡治子・萩原暢子 (学28期)、
- 寺村和久 (学37期)、柏木元実 (学39期)、
- 尾野真弓 (学40期)、塩見聡史 (学44期)、
- 中部奈美 (学47期)



## R8. あかつき会案内

10月に入りましたが未だに残暑の残る今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。  
さて、令和8年(2026年)のあかつき会を奈良県担当で開催することが今年のあかつき会で決まりました。令和8年の9月のカレンダーでは敬老の日を挟んで4連休(土日を含めば6連休)で休日が続きます。そのためこの時期を外して令和6年と同じような9月27日(日)に開催いたします。

以下の要領で予定を組みました。  
あかつき会の皆様は来年の予定に入れておいてください。  
改めて出欠の確認のためのご案内をお送りします。

日時：令和8年9月27日(日) 12時～14時

場所：ホテル日航奈良

〒630-8122 奈良県奈良市三条本町8-1

TEL 0742-35-8831

交通アクセス：JR奈良駅の西口に直結

※近鉄奈良駅からは徒歩約12分です。

会費：20,000円(当日徴収します)

幹事：古家 仁、奥田隆章、久保光彦、今城 一

記：2025年10月1日

## 平成20年卒 学57期 クラス会開催のご案内

来年の3月にクラス会開催をいたします。  
お手数ですが、出欠をGoogleフォームにて12月末日までにお知らせ下さい。  
クラスのLINEグループへ参加ご希望の先生は浅石までご連絡をお願いいたします。  
みなさまのご参加、お待ちしております。

日時：2026年3月8日(日) 12時～14時

場所：ヒルトン大阪

幹事：浅石 健



(参加申込はこちら)

## 仁泉ひろば

jinsen-park

### 2025年(令和7年)7月 質問状

文責／魚橋病院気付 富中愛一郎(学27期)

消化器内科外科医学の〈腸重積症〉について検査方法、治療方法をお伺いします。

私事、現在74歳ですが、若い頃 痔核結紮術、1年前に左鼠経ヘルニア内視鏡手術、10年前に左手首の悪性黒色腫の形成外科での右下腹部の遊離皮弁移植手術の既往あり。

大抵いつも1日1回の排便ですが、排便困難で鉛ねぶり、トイレの湯ノズル使用、大腸あたりをさすって排便を促すのが頻回でした。

消化管には順蠕動と逆蠕動がある訳で、そこへ時々薬のコリン剤と抗コリン剤を内服しており僕はバカだから順方向ばかりしごいて排便していました。

治療として高圧浣腸～不可能ならば緊急手術と本にあり。それで整復しておかないと便秘してイレウス腸閉塞のおそれあり。

半年前には、裂肛や痔瘻(じろう)がありましたが、おさまり安心していましたが、今度は1か月前に左腹痛が時々あって、右腹鳴が近ごろ時々生じ、排便後紙に一個の血点がつきました。症状として一週間前、2日続いて太い便柱のあと軟らかい細い便が出て4日目に細長い2条の便柱が出たので、左下腹痛もあり診断は回盲部の肛側大腸への陥入が進んでいる腸重積としました。

今思う事は、この病態の寛解手術は？また気をつける対処方法は？また検査は？です。

どうぞよろしくご助言のお手紙ください。

敬具



## 令和8年度仁泉会学術集会助成申請について

令和8年度(2026年4月1日～2027年3月末日)において、仁泉会会員が主催する学会に対する助成申請の受付を**2025年12月1日**より開始します。(提出期限：令和8年1月末日)  
申請を希望する会員は、規程をご一読の上、申請書を事務局までご提出下さい。  
申請書は仁泉会ホームページからダウンロードいただくか、事務局までお申し出下さい。

仁泉会事務局

jimu@jinsenkai.net tel:072-682-6166 fax:072-682-6636

仁泉会ホームページ

大阪医科薬科大学仁泉会

検索

# 仁泉ひろば

jinsen-park

## 軽音楽部 新部長・田中智人先生を 囲む会 開催報告

文責／二村吉継（学49期）

令和7年10月11日（土）、大阪市北区のジャズクラブ「GALLON（ガロン）」にて、「軽音楽部 新部長・田中智人先生を囲む会」が開催されました。

北新地にほど近い落ち着いた街角に位置するこの店は、かつて音楽愛好家の間で知られた老舗「Mister Kelly's」があった場所で、その閉店を機に軽音楽部OBの三田先生がジャズクラブとして存続するためにオーナーとして引き継がれた名店です。日々上質なジャズの生演奏が楽しめる空間として多くの音楽ファンに親しまれており、軽音楽部にとってはこれ以上ないふさわしい会場となりました。現役部員と多くのOB・OGが集まり、音楽と笑顔に包まれた心温まる会となりました。

司会の石崎先生の進行で会がスタート。まず、新部長に就任された産婦人科学教室教授・田中先生の同級生である平山先生と鎌田先生による乾杯のご発声で、和やかな雰囲気の中、会が幕を開けました。

続いて、櫻井・二村・藤山・垣田の各先生によるバンド演奏が行われ、学生時代からオリジナルの楽曲を作ってきたメンバーでオリジナル曲2曲に加え、田中先生が学生時代から愛聴し、何度も演奏されたThe Policeの名曲「Every Breath You Take」が披露されました。こ

の曲は9th音が印象的に響くアルペジオのイントロから始まります。音楽には、記憶を瞬時に呼び覚ます力があり、あの頃の音、部室、仲間たち——そのすべてが音に乗ってよみがえり、田中先生をはじめ、学生時代を共に過ごした先生方の胸に深く響いた時間でありました。

歓談と食事を挟んだのち、出席者全員が一言ずつ近況を語り合う時間となりました。学生時代の思い出や近況報告を通じて、世代を超えて交流の輪が広がりました。それぞれの学生時代の軽音楽部での思い出は今なお心に刻まれていて、医師になった後も音楽を通じて、人生をより豊かにするエピソードが多く語られました。一方で、学生時代には社会に出る前の情熱と未熟さが共存している時期であるがゆえの失敗を含む思い出話も語られました。現役部員達へは「社会の一員として責任を持ちながら、音楽を存分に楽しんでほしい」という温かい助言が寄せられました。田中先生には、学生と社会をつなぎ、教育的な立場からその成長を見守っていただきたいという、OB・OG一同の思いが込められたひとときでもありました。

全員の挨拶が終わると、塙・三田・河野・石崎・二村・木村の各先生による第二部の演奏が行われました。その中で田中先生が愛聴されるStingがカバーしたThe Beatlesの名曲「A Day in the Life」が演奏されました。続くジャズナンバー「Mercy, Mercy, Mercy」では、前部長・星賀先生が即興のピアノソロで参加され、大きな拍手が送られました。即興演奏のソロ回しはバンド演奏の醍醐味でもあり、三田先生のサクソソロ、私（二村）のギターソロ、木村先生のピアノソロとその瞬間に生まれるグルーヴは、まさに軽音楽部ならではの一体感へと昇華されました。



会も終わりに近づき、いよいよ星賀先生と田中先生、新旧部長にそれぞれにご挨拶をいただきました。

星賀先生からは、長年にわたり部長としてご尽力されたご経験を踏まえ、田中先生とこれからの軽音楽部に対する温かい励ましの言葉とともに、その思いを次の世代へのバトンとして託されました。

田中先生からは、軽音楽部で過ごしたご自身の経験と共に、今後の軽音楽部のさらなる発展と学生たちを見守っていく決意が語られました。

続いて記念品の贈呈が行われました。星賀先生には元キャプテンの池田先生から、田中先生には現役部員を代表して飯居さんから、それぞれ記念品が手渡されました。記念品はピアノをモチーフにしたイタリア・Marlen製のボールペンで、ピアニストでもあるお二人の先生に大変喜んでいただき、参加者一同から両先生への感謝と祝福の拍手が惜しみなく送られました。



閉会にあたっては、河野先生よりご挨拶があり、軽音楽部のさらなる発展と再会を誓う言葉で締めくくられました。全員で記念撮影を行い、音楽と笑顔に満ちたひとときが、参加者の皆さまには永く記憶に残る会となったことと思います。

今回は有志で開催した会でしたので、田中先生の学生時代を共に過ごした先生方を中心に集まっていたいただきました。そのため、ご案内の行き届かなかった先生には大変失礼をいたしました。OB・OG・現役が一体となり、軽音楽部の絆と伝統が脈々と受け継がれていることを改めて実感する会となりました。

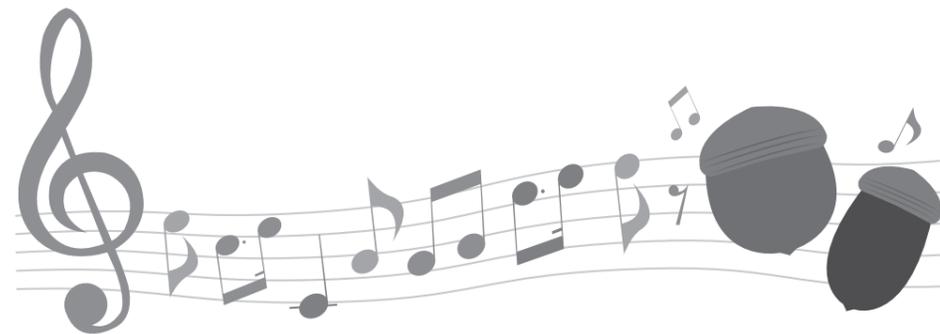
今後もこのような交流の機会を通じて、母校軽音楽部の活動を末永く応援してまいりたいと思います。





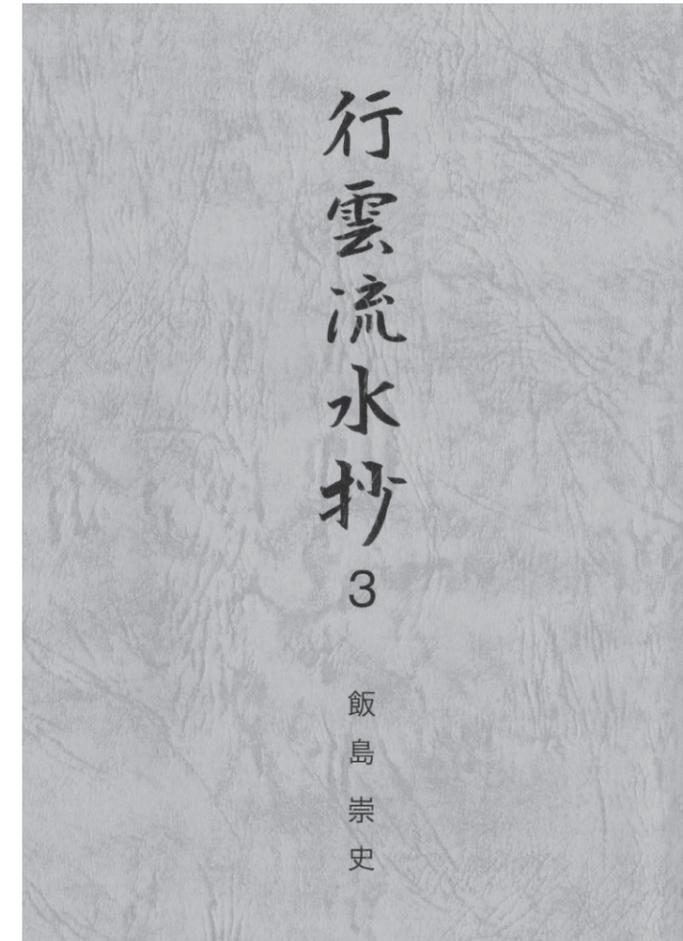
参加者 (敬称略)

星賀正明	学 34 期	石崎英介	学 45 期	金森敬子	学 50 期	奥野隆祐	学 64 期
岩崎善毅	学 35 期	櫻井幹士	学 45 期	佐久間知子	学 50 期	芦邊祐規	学 68 期
塙力哉	学 35 期	佐竹信哉	学 48 期	田代圭太郎	学 50 期	垣内俊祐	学 70 期
三田浩司	学 38 期	木村光誠	学 49 期	藤山 徹	学 50 期	池田裕菜	学 73 期
山下英丸	学 40 期	佐久間 航	学 49 期	鎌田航也	学 52 期	上田匠真	医学部 6 年
河野武弘	学 41 期	田尻健介	学 49 期	田中智人	学 52 期	飯居華美友	医学部 5 年
新関 亮	学 43 期	土居 温	学 49 期	平山 尚	学 52 期	石原幸佳	医学部 3 年
清水啓二	学 44 期	二村吉継	学 49 期	垣田 謙	学 54 期	上西輝征	医学部 3 年
成田敬介	学 44 期	乾 崇樹	学 50 期	木村誠吾	学 57 期		



会 員 著 書

この度、飯島崇史先生(学 25 期)が「行雲流水抄 3」を発刊されましたのでご紹介させていただきます。



はじめに	6
厚生労働大臣 表彰	8
伝統文化継承の試み	9
音楽と楽器の話	10
卯年生まれの年賀状	14
京都末富の艶菓子「行雲流水」	17
ウイルス感染症を経験した我々のなすべきこと	19
同級生の消息	21
伝統芸能(人形浄瑠璃)の危機	23
伝統行事としての様々な「祭り」	25
モーツァルトの生い立ちと死	30
本を読む楽しみ	34
「ゆめしま海道」旅行記	36
なぜば成る	39
物の価値における私見	40
車椅子生活で気づいたこと	41
能登半島地震	45
南九州旅行記	47
NHK大河ドラマ「光る君へ」	50
家々の植栽	53
別府温泉旅行記	55
卒業後55周年同窓会および メトロポリタン歌劇場交響楽団演奏会	58
2024パリオリンピック アスリートたちの涙	60
制服	62
ヒマヤ山脈の朝焼け	64
運転免許返納	66
山口温泉旅行	68
経済リポート	71
2025年年頭所感	72
車椅子でゴンドラに乗り星空観察ツアーへ	75
書評 ゆふすげ	76
コトコレシビ コンテストに参加して	77
景神温泉能舞台の雛飾り	78
手紙	79
おわりに	83



事業報告

学生生活虎の巻2025

編集部がレポート！

2025年9月5日（金）、学生生活虎の巻が開催されました。この会は学生実行委員会の企画により、仁泉会と大学が共催するイベントとして続いており、今回で第15回を迎えました。

今年は全学年を対象に、外科・研究・内科といったそれぞれの専門分野で活躍する卒業生の先生方をお招きし、医師としての歩みや進路選択の経緯、学生時代の経験などを語っていただきました。

当日は、運営実行委員長である6回生・藤井翔大さんの司会により会がスタート。

開会の挨拶では、仁泉会常任理事であり微生物学教授の中野隆史先生が、次のようにお話しされました。

「仁泉会と大学との共催という形で2015年11月にこの会が始まり、はや10年が経とうとしています。

当時、学生だった庄子万能さんから“クラブに入っていない学生もOBや先輩の話を聞ける機会を作れないか”と相談を受けたことがきっかけでした。

以来、運営委員・実行委員はすべて学生に任せ、代々受け継がれてきています。

本日はお忙しい中ご参加いただいた先生方、ありがとうございます。学生の皆さんには、充実した学生生活を送るためのヒントや、卒業後の進路を考えるきっかけを得ていただければと思います。

仁泉会は今後も皆さんの活動を支えてまいります。本日はどうぞよろしくお願いいたします。」



中野隆史先生

物事をするきっかけになり、日々の活動の力になることがあると語られました。多忙な先生ですが、今回のセミナーでは、実行委員長の藤井さんとの対談形式で、胸部外科を志した理由や学生へのメッセージを語ってくださいました。

心臓に魅せられて  
——胸部外科を志したきっかけ

神吉先生が胸部外科を選ばれたきっかけは、「心臓や大動脈の構造の美しさ、そしてそのダイナミックな動きに魅せられたこと」。

心臓血管外科の繊細さと力強さに惹かれ、この道に進む決意を固めたといいます。

また、「人の役に立ちたいという気持ちがあれば、日々の勉強も苦にならない」と、医師としての原点を語られました。

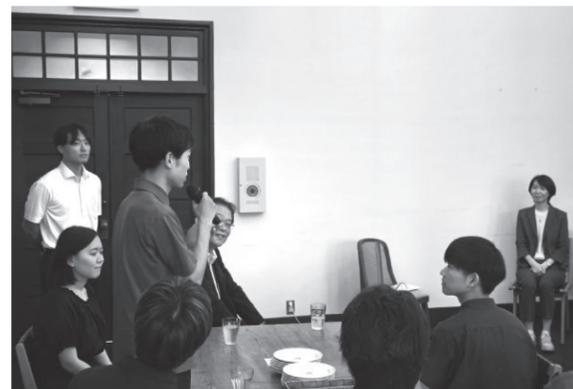
“見た目も実力のうち”  
——学生へのメッセージ

神吉佐智子先生(学48期)  
胸部外科学教室

最初のプレゼンターは、大阪医科薬科大学胸部外科学教室の神吉佐智子先生。臨床研修運営委員として学生教育に携わるほか、女性医師支援センター副センター長、教員組合の組合長等、複数の団体の多岐にわたる活動に参加をされています。声をかけられた事はほとんど断らないことで、いろいろな側面から



藤井翔大さん(左)と神吉佐智子先生(右)



学生へのアドバイスとして印象的だったのは、「見た目ひとつで評価を得ることも失うこともある」という言葉です。「内面が素晴らしくても、服装や髪の色などで第一印象を損ねるのはもったいない。患者さんの前などでは“きちんと見える自分”を意識してほしい」と、時と場所によって身だしなみを考えることの大切さを具体例を交えて話されました。

人とのつながりが未来をつくる

母校で研修を選ばれた理由については、「慣れ親しんだ環境や人間関係の中でこそ、心臓外科という厳しい分野に挑めるといった」と語られました。また、希望していた海外留学なども母校に在ることによって計画的に進めることができたこと、学生時代から築いてきたつながりが、今のキャリアを支える大きな力になっていることを実感として伝え、「学生時代から周りの人との関係を大切に信頼関係を築いてほしい」と強調されました。

留学先での一生のつながり

元々留学をしたいと考えていた先生ですが、学生の時に留学するのも良いが、大学院で博士号を取り、専門医資格や診療経験ができてからの留学もおすすめだと語られました。留学中はひたすら心臓血管系の研究をしていたという先生ですが、世界中の同世代の仲間と一緒に研究できるという環境がとても良かったと語られ、その時の仲間とはいまでも交流が続いているということでした。

外科に挑む学生たちへ

外科医志望者の減少についても触れ、「環境整備は確実に進んでいます。怖がらずに挑戦してほしい」と力強いメッセージを送られました。



谷口高平先生(学57期)  
トランスレーションリサーチ部門

外科と研究、二つの道を語る

大阪医科薬科大学 トランスレーションリサーチ部門の谷口高平先生(学57期)は、外科医として臨床の現場に立ちながら、研究分野でも活躍されています。「台風の影響が心配でしたが、無事に開催されてよかったです。科研費の申請で一番忙しい時期ですが、かわいい後輩たちのために参加しました」と、冒頭に笑顔で挨拶された先生。

お話は先生ご自身の経験をもとに、実践的かつ温かみのある内容となりました。

自己紹介とアイスブレイク

先生はまず、ご自身の履歴書を使ったクイズ形式のスライドで自己紹介。

平成20年卒で卒業時に仁泉会理事長賞を受賞された思い出など、親しみやすいエピソードで会場を和ませました。

また、「仁泉会は学生にも大切なつながりを与えてくれる」と、入会を勧めていただける一言もありました。



谷口高平先生

## 研究とは「真理を探求すること」

「研究とは、疑問に思ったことや課題について真理を探求すること」と話された先生。

医師人生は40年以上続く長い道のりだからこそ、「大学院の4年間など、一定期間を研究者として過ごすことを勧めたい」と強調されました。

「研究に取り組むことで、今まで使っていなかった能力を伸ばすことができる」とも語られました。

また、「今の日本では、どこの大学病院でも高いレベルの治療が受けられるようになってきています」と現状を分析。ガイドラインが整備され、診療が標準化されていくなかで「AI が診断まで行える時代が来る。だからこそ医師として新しいものを生み出そうとする事が必要なのではないか」と、研究の意義を学生に伝えました。

## 外科を選んだ理由

外科を選んだ理由については、「診療にメリハリがほしかった」と話されました。

「手術の日と外来の日があり、リズムがあるのが自分に合っていた」とのこと。

また、消化器外科を選んだのは「人体の上から下まで幅広く診られる点に魅力を感じたから」。

執刀の機会にも恵まれ、「切除よりも再建の方に奥行きを感じ、そこにやりがいを感じる」と語られました。さらに、「外科医はブルーオーシャン。大変そうに見えるかもしれませんが、他人が決めることはありません。飛び込んでみると意外と居心地が良いと思うことがあります。人が少ないからこそ、皆さんの価値が高まる」と、挑戦する勇気を学生に呼びかけました。

## 大学院・研究への進み方

「神吉先生のように計画的に大学院に進むのも良いですが、私はそうではありませんでした」と笑いながら話された先生。

外病院での研修中に、教授から大学院進学を勧められた先生は、卒後3年目に大学院へ入学されました。入学後半年ほどで研究室へのお誘いもあったそうですが、「どちらにも迷惑をかけてしまう」と考え、その時は研修を優先されたといいます。その後、研修を修了してしばらくした頃に再びお声がかかり、今度は迷わず岐阜大学へ出向して研究に専念する道を選びました。



## Q&A からのアドバイス

先生は事前に質問を募集していただき、後半はQ&A方式でお話をいただきました。

**Q** 研究環境の違いについて  
～卒後に地元へ戻ろうと思っています～

**A** 「大阪と地方では研究費や設備の面で差があります。ただ、地元に戻るという選択には必ず大切な理由があるはず。それは大事にしてもらっていい、ただ、医師人生で何を優先するかを自分の中でもう一度問い直して考えてほしい」と話されました。

**Q** 研究テーマの選び方について

**A** 「最初は勧められたテーマから始めて信頼を得るのが良い。まず“守”から始めて、“破・離”へ進むことで自分の色が出てくる」と、“守破離”の考え方を紹介されました。

**Q** 研究者の働き方について

**A** 「研究職は自分の時間を自由にコントロールできるという点が大きな魅力で、自分には合っています。ただ一方で、研究は成果が求められる世界です。どれだけ時間をかけても、最終的には論文の質や研究費の獲得という“結果”でしか評価されないという厳しさがあります。」と語られました。

**Q** 収入や生活について

**A** 「アルバイトの数などで違いは出るのかもしれませんが、生活に困ることはありません。日本は

累進課税の国なので、沢山稼いでも手取りに差は生まれにくいと思います(笑)」と笑いを誘いました。

**Q** 初期研修先の選び方について

**A** 「在学中6年間で築いた人間関係を一度リセットして再構築するのは大変。

特別な理由がなければ、母校に残るのも良い選択だと思います」と助言されました。

**Q** 学生時代にやっておいた方がよいと思った勉強はなんですか？

**A** 「プログラミングです。ただ最近は ChatGPT などのテクノロジーが補ってくれるようになってるので、無理はしないでよいかと思います。他にはFP(ファイナンシャル・プランナー) 3級の資格を取るのもおすすめ。社会人としての教養になります」と、実践的なアドバイスをくださいました。

## 外科医・研究者としてのメッセージ

最後に、「昨日の自分を今日上回るように毎日過ごしてほしい」と締めくくられました。

## 佐川峻一先生(学70期)

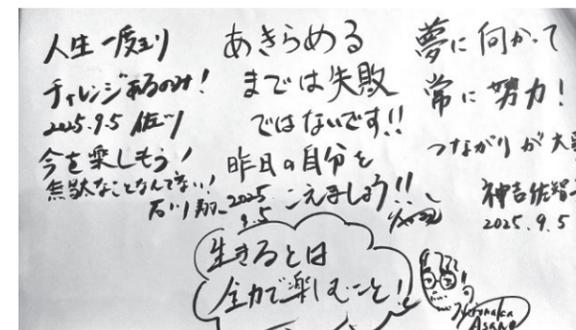
### 消化器内科

## 実行委員からプレゼンターへ

続いて登壇されたのは、大阪医科薬科大学 消化器内科の佐川峻一先生と、循環器内科の浅野広中先生(ともに学70期)。



佐川峻一先生



お二人は学生時代、「学生生活虎の巻」の実行委員として会を運営していた経験をお持ちで、今回は卒後5年目の若手医師として登壇されました。それぞれ持ち時間を半分ずつ分け、前半は佐川先生がプレゼンターを務められました。

## 学生時代に感じた“モヤモヤ”

「今日はこうした会に参加されたこと自体がすばらしいことだと思います」と切り出した佐川先生。

自身も学生時代に虎の巻へ参加していたと振り返り、「当時は“どんな医者になればいいのか”とモヤモヤした不安がありました」と話されました。

「皆さんも同じような気持ちを抱えているかもしれませんが、今日は少しでもその不安を和らげられたらと思います」と温かい言葉をかけられました。

学生時代はゴルフ部に所属し、バイト・クラブ・勉強に追われる日々。

「気づけば高学年になり、国試対策や病院見学と時間が過ぎるのはあっという間でした。6年間は思っている以上に早い」と語られました。

## 情報を集め、動いてみることの大切さ

「研修医になってからのことを考える余裕がなかった」と当時を振り返る佐川先生。

だからこそ、「情報を集めよう」と意識し、部活引退を機に様々な場に顔を出すようにしたといいます。

先輩に話を聞いたり、勉強会に参加したり、オープンキャンパス運営などにも積極的に関わりました。

そうした経験を通して、「人それぞれバックグラウンドも価値観も違う」ということを実感。「僕は普通のサラリーマン家庭でしたが、親が医師で病院を継ぐ人もいました。

ライフワークバランスの考え方もそれぞれ違う。どれが正解ということはなく、“この先生の働き方が素敵だな”“この先生みたいになりたい”と思える人を見つけると良いかもしれません」と学生にアドバイスされました。

研修先を決めた理由について、「大阪医大のさまざ

まなイベントや勉強会に参加する中で、自然と母校への愛着が大きくなっていきました。市中病院も3か所ほど受けましたが、最終的には大阪医大を第1希望としてマッチングに臨み、採用していただきました」と、当手を振り返って話されました。

### 医師としての第一歩

卒業後は大阪医科薬科大学に残られた佐川先生。「大阪医大の研修医は56名と多く、自分の積極性が求められる環境です。

“やりたい”と言えば、先輩が“やってみ”と機会を与えてくれます。自分次第で学びの量は大きく変わる」と語られました。

一方で、「時に厳しい言葉をもらうこともありました。その時はもっと優しく言ってよとは思いました(笑)でも、今思えば必要な言葉だった」とも振り返られ、「真面目に頑張ること、そして仲間と協力しながら過ごすことが大切」と、研修時代の経験を率直に伝えられました。

### 消化器内科の魅力と日常

「せっかく医師になったのだから、手技にも挑戦してみよう」との思いから、消化器内科を選択された佐川先生。

宝塚市民病院での研修を振り返り、「8時に出勤し、カルテ確認・回診後に内視鏡検査、昼からはERCP(胆管の処置)などを行い、カルテ記載と復習をして1日が終わる」と、具体的なスケジュールを紹介。

「ようやく“基本のき”が身についたところ。これから1人前になるためにさらに経験を重ねたい」と現在の心境を語られました。

### 後輩へのメッセージ

「学生時代に関わったり参加したりした経験は、無駄ではなかった」と強調されました。

「肌で感じたことを大事にしてほしい。少し高いと思う目標でも、できるかな…と思ったらまず挑戦してみてください。無謀はダメですが、“まずは高く飛んでみる”ことが大切です」とメッセージを送りました。

また、「どの道に進んでも間違いはありません。ただ、“コスバ”や“楽さ”ではなく、自分が本当にやりたいと思える道を選んでほしい。自分で選んだ道だからこそ、一生懸命頑張れると思います。」と、力強く締めくくられました。



浅野広中先生

### 浅野広中先生(学70期) 循環器内科

#### 学生時代の思い出と、再出発の決意

後半のプレゼンターは、大阪医科薬科大学 循環器内科の浅野広中先生です。

学生時代には、「学生生活虎の巻」で運営を担当されており、その時プレゼンターをお願いした、神吉先生と同じ医師として壇上に立ったことに「感慨深いです」と語られました。

浅野先生は、一度他大学を卒業後、社会人として働き、大阪医科大学に入学されたという異色の経歴をお持ちです。

「2度目の学生生活では、やり残したことは全部やろうと決めていました」と話され、在学中は部活動を7~8つ掛け持ちし、オープンキャンパス運営などにも積極的に参加されたそうです。

学生時代のスライドには、部活動での写真や、現在の奥様との出合いを振り返る場面もありました。

また、須磨久善先生(学23期)を招いた講演会で司会進行を務めた思い出や、第7回学生生活虎の巻の運営時には自筆でポスターを制作したエピソードも紹介されました。(今も使わせていただいています。)



当時の虎の巻ポスター

### 研修と結婚、そして家族のこと

卒業後は研修医としての忙しい日々の中、2年目でご結婚。奥様も現役の医師であり、お互いに多忙な毎日を送られている先生ですが「考えすぎるよりも、タイミングを大切にすることが大事」と、後輩たちにアドバイスを送られました。

また、外研修では奄美大島でのエピソードも披露されました。

「バスケットボールをしていて足を痛め、研修先の病院で診てもらいました」と笑いを誘い、会場は和やかな雰囲気になりました。

3年目に第一子が誕生。

「ちょうどその日、カテーテル手術に入らせてもらっていたのに集中できなかった」と振り返りながらも、「周りの先生方が優しくサポートしてくださり、終わり次第すぐに駆けつけることができました」と感謝を述べられました。

ご実家も遠く、子育てと仕事の両立は容易ではないものの「お互い忙しくても何とかなるものです」と穏やかな笑顔で後輩たちを励まされました。

### 「亀の甲羅を背負う」修行の意味

浅野先生は、世界的に有名な漫画を例に出しながら、「亀の甲羅を背負って走る修行のように、やっている時には意味が分からなくても後になって力がついている事に気づくことがある」と話されました。

「実習も最初は意味が分からないことが多い。でも、その時は無駄と思えても体験したことは記憶に残り、後で必ず生きてきます」と語られました。

「国家試験の勉強も大切ですが、それだけでなく、機会があればいろんな活動に参加してみてください」と学生たちに呼びかけられました。

### 後輩へのメッセージ

「今日お会いした皆さんと、将来病院で会うことがあれば、ジュースの一本くらい奢ってあげようと思えます」と話され、会場からは笑いが起こりました。

「真面目に頑張っている姿勢が見えれば、先輩はきっとサポートしてくれます。経験を積むチャンスも増えるはずですよ。頑張ってください」と温かいエールを送られました。



# 新聞切抜

田村 功先生(学31期)のマンガが全国保険医新聞 第3012号に掲載されましたのでご紹介させていただきます。

## SNS選挙運動と 関東大震災のデマ・流言

篠田公敬(岐阜)

参議院議員選挙がはじまった(7月5日現在)。今回も多数の政党、政治団体から立候補者が出ている。候補者の声を聴くには、街頭演説・立会演説会であった。支援者は、電話、はがきでの広報を行った。SNSによる選挙運動は、特定候補に対する、誹謗中傷を主とする。近年、つくられた政党

生活保護がこれ以上増えると日本の財政は大ピンチです

ベーシックインカムは心配ありません

5年間で総額43兆円に増やす防衛費、財源はどうするんですか？

100兆円と言われるコロナ関連支出、野党も出さないと追求しないよな？

AIに仕事を奪われて大量失業時代が来ます

少子化による労働力不足に対しては日本も大量の移民の受け入れが必要ですよ

「ごっさなの？」「これモ」「行った医療行為にはそれなりの病名が必要ですよ。コメントも病名が1番です」

「レセプト病名は避けて下さい」

院長 見えにくい所はもうほとんど埋まっています

「天井」「奥」「座面の裏」「座面の表」「スリッパ入れの奥の面」

「草木のかけ」「消火器の後ろ」

「足許にASカス」

「トイレ奥」

「便器の側面」

「脱力 ぼん太(兵庫)」

# まんが 第76回

ポン太ールカプセル 250mg (学31期)

## どっち

## 見え〇〇い場所

生活保護がこれ以上増えると日本の財政は大ピンチです

ベーシックインカムは心配ありません

5年間で総額43兆円に増やす防衛費、財源はどうするんですか？

100兆円と言われるコロナ関連支出、野党も出さないと追求しないよな？

AIに仕事を奪われて大量失業時代が来ます

少子化による労働力不足に対しては日本も大量の移民の受け入れが必要ですよ

「ごっさなの？」「これモ」「行った医療行為にはそれなりの病名が必要ですよ。コメントも病名が1番です」

「レセプト病名は避けて下さい」

院長 見えにくい所はもうほとんど埋まっています

「天井」「奥」「座面の裏」「座面の表」「スリッパ入れの奥の面」

「草木のかけ」「消火器の後ろ」

「足許にASカス」

「トイレ奥」

「便器の側面」

# 本部だより 会員訃報

次の会員が亡くられました。  
慎んでご冥福をお祈り致します。

## 事務局編集係

### 学部7期 岩永 啓先生

令和7年8月1日老衰の為ご逝去（94歳）。

昭和33年卒。

母校卒業後、大阪府茨木市にて岩永産婦人科医院をご開業され、地域医療に貢献されました。

ご遺族 長女 純子様

### 学部7期 神部 彰先生

令和7年1月24日肺癌の為ご逝去（93歳）。

昭和33年卒。

昭和27年に京都大学理学部をご卒業。昭和33年大阪医科大学を卒業後、第一内科に入局されました。その後、長岡京市にて医療法人社団神部医院をご開業され、地域医療の発展に尽力されました。

ご遺族 ご息女 敦子様

### 学部13期 田中 明先生

令和7年8月17日老衰の為ご逝去（89歳）。

昭和39年卒。

卒業後、母校にて講師としてご勤務されました。その後昭和50年代初めに宇治市内の田中診療所の医院長にご就任され、平成22年12月に退任されるまで、長きにわたり地域医療を支えておられました。

ご遺族 ご長男 秀明様

### 学部16期 下村 守先生

令和7年7月9日慢性糸球体腎炎の為ご逝去（85歳）。

昭和42年卒。

卒業後、長崎大学医学部産科婦人科学教室に入局。その後、医学博士号を取得されました。長崎原爆病院産婦人科での勤務を経て、医療法人しもむら産婦人科にて理事長、院長を歴任され、地域医療に貢献されました。

ご遺族 ご子息 修様

### 学部20期 藤田きみゑ先生

令和7年6月25日間質性肺炎にてご逝去（79歳）。

昭和46年卒

母校卒業後、昭和63年5月医学博士号を取得。その他日本臨床心理士、日本医師会認定産業医も取得され、平成6年4月滋賀県立短期大学看護学科教授にご就任され、その後平成23年4月滋賀県立大学名誉教授にご就任されました。

ご遺族 ご長男 泰宣様

### 学部20期 本田 稔先生

令和7年8月16日心不全の為ご逝去（78歳）。

昭和46年卒

母校卒業後、兵庫県芦屋市にて本田外科・胃腸科をご開業され、地域医療を支えてこられました。

ご遺族 妻 依子様

### 学部20期 松本泰仁先生

令和7年8月15日誤嚥性肺炎の為ご逝去（80歳）。

昭和46年卒。

卒業後、関西医大香里病院外科でのご勤務を経て、大阪府松原市にてお父様の跡を継がれ医療法人香松会松本医院をご開業されました。松原市医師会長、大阪府学校保健会会長を長きにわたり務められ、地域医療の発展にご尽力されました。

ご遺族 妻 豊子様



## 開業しました！

### 門田 卓先生（学56期）

名称 かどた内科ハートクリニック  
住所 〒503-1316 岐阜県養老郡養老町押越1238-1  
電話 0584-71-6366  
FAX 0584-71-6366  
診療科目 内科・循環器内科  
診療時間 月～土 8:30～12:00  
月火・木金 15:30～18:00  
休診日 木曜午後、土曜午後、日・祝日  
ホームページ <https://kadotanaika-heart-cl.com/>  
仁泉会の先生方に一言  
宜しく申し上げます。

## 開業しました！

### 中尾謙太先生（学60期）

名称 なかお三国ペインクリニック  
痛みの治療とリハビリテーション  
住所 〒532-0005 大阪府大阪市淀川区三国本町3-7-16 三国本町クリニックビル3階  
電話 06-6210-6301  
FAX 06-6210-6302  
診療科目 ペインクリニック内科、整形外科、リハビリテーション科、麻酔科  
診療時間 月～土 9:00～12:30  
月～水・金 16:00～19:00  
木 14:30～17:30  
休診日 土曜午後・日・祝日

## 編集部より

### 会費納入のお願い

年会費  
令和7年度 10,000円  
令和6年度 10,000円  
令和5年度 10,000円  
納入のご協力をよろしくお願い致します。  
事務局 会計係

### 編集後記

ついにガラスの天井が破られました。日本では政財界への女性の進出が欧米に比べて少ないと言われ続けていました。自民党の総裁に選ばれても公明党の与党からの離脱で、首相になれない総裁になるのかと危ぶまれていました。維新が自民党に協力するということになり、ついに女性首相が誕生となりました。首相になったとたんトランプ大統領の来日、それに続いてASEAN等外交

### 原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。ご投稿お待ちしております。  
●57巻1号（令和8年1月1日発行）  
締切 令和7年11月末日  
●57巻2号（令和8年3月1日発行）  
締切 令和8年1月末日  
●送付先：仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町2-7  
E-mail: [jimu@jinsenkai.net](mailto:jimu@jinsenkai.net) FAX:072-682-6636

が続きました。ハードスケジュールにもかかわらず、笑顔を絶やさず堂々とした振る舞いに好感を持ちました。ただ医療政策に関しては維新は厳しい見解を持っているので予断を許しません。どのような方向に日本を導いてくれるのか、安定した長期政権になることを願ってやみません。そして男性、女性の形容詞がいない状況になればと思います。(HM)

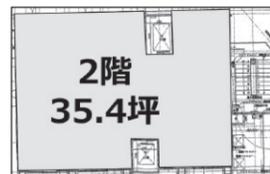
# テナント募集 消化器内科・内科・心療内科の承継物件

場所：大阪市浪速区難波中 2-3-3

募集科目：皮膚科・婦人科を除く全科目

※推奨科目：消化器内科・内科・心療内科

募集区画：2階 35.4坪



- 角地に面しており、視認性良好です
- 乗降客数の多いなんば駅からのアクセスが抜群です
- 皮膚科・婦人科盛業中の医療モールです



- 5F：婦人科クリニック
- 4F：皮膚科クリニック
- 3F：美容エステ
- 2F：募集区画
- 1F：日本調剤なんば薬局

★各階盛業中  
★南海電鉄「なんば」駅徒歩2分

■エレベーター設置  
■内視鏡、腹部・心臓エコー、X線設備等は譲渡対象です。(金額等応相談)

○昼夜通して人通りの多いエリアです。周辺はショッピングモールが多く立地しており、視認性抜群です。

- ・賃貸借契約にあたっては、調整・打ち合わせが必要になります。
- ・建物外観や仕様・契約面積等は変更になる可能性があります。

お問い合わせ先

仁泉会事務局：TEL 072-682-6166

FAX 072-682-6636

e-mail jimu@jinsenai.net

## 求む!! 老健施設長

### 《人生100年時代 再就職先に最適です》

《募集内容》

資格：医師免許のある方（専門分野問いません）

勤務：週32時間以上 週4～5日勤務

年収：1000万円程度（詳細は面談の上）

《連絡先》

郵便番号：621-0046

住所：京都府亀岡市千代川町北ノ庄向条 24 番地（京都縦貫道千代川IC直ぐ）

最寄り駅：JR 嵯峨野・山陰線 千代川駅（送迎可）・（車通勤可）

電話番号 0771-29-1121

ホームページ <https://www.osawa-komorebi.com>

メール [kameoka@osawa-komorebi.com](mailto:kameoka@osawa-komorebi.com)



《募集法人》

医療法人大澤会 介護老人保健施設こもれび

理事長 大澤直也

担当理事 島田真久（学14期）

採用担当 田中慶二郎（老健事務長）



# ご支援のお願い

## 至誠仁術を備える人材の育成をめざして

### 数十年先の未来医療へ

大阪医科大学創立100周年記念事業

## 大阪医科薬科大学病院 新本館建築プロジェクト

本法人では、2027年に迎える創立100周年に向け「大学病院新本館の建築」と「学生支援体制の充実」を目的に、2018年10月「大阪医科大学創立100周年記念事業募金」を設立しました。設立以来、これまでに患者さんやそのご家族をはじめ、卒業生、保護者の皆様など多くの方々より多大なるご協力を賜りました。これも皆様の深いご理解の賜物と、厚く御礼申し上げます。引き続き、ご支援並びにご協力を賜りますようお願い申し上げます。



募金目的 大学病院新本館の建築、学生支援体制の充実、奨学金制度の拡充

募金目標 10億円

募集期間 ～2027年3月

募集対象 趣旨にご賛同いただける個人・法人の皆様

募金単位 個人：1口1万円、法人・団体：1口10万円  
1口未満のご寄付につきましても有難くお受けいたします。

特典 大阪医科薬科大学健康科学クリニック人間ドック（基本コース1名1回分）無料受診券を進呈します。

個人10万円以上、法人・団体50万円以上

申込方法 学校法人大阪医科薬科大学寄付WEBサイトよりお申し込みいただくか、募金推進本部迄ご連絡ください。申し込み先▶



## 大阪医科薬科大学基金

大阪医科薬科大学基金は、皆さまからのご寄付を積み立てて資金運用を行い、さらに増やしていく仕組みです。基金の拡充は、長期にわたる「教育・研究活動」や「良質な医療の提供」の強化に繋がります。

募集要項

募金単位 個人：1口1万円 法人：1口10万円

申込方法 学校法人大阪医科薬科大学寄付WEBサイトよりお申し込みいただくか、募金推進本部迄ご連絡ください。

【お問い合わせ先】募金推進本部 ☎072-684-7243

税制上の優遇措置

学校法人大阪医科薬科大学は特定公益増進法人です。大阪医科薬科大学に対するご寄付は所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置を受けることができます。また一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。

## 2025年4月 START 大阪医科薬科大学 × 高槻市ふるさと納税

大阪府高槻市には、ふるさと納税制度により高槻市に所在する大学を支援する制度があり、この制度を通じて、大阪医科薬科大学を指定したご支援をいただくことが可能です。



高槻市ふるさと納税がバメントクラウドファンディングサイトよりお申し込みください。

※ご寄付に伴う高槻市からの返礼品はございません。  
※高槻市在住の方でもご寄付いただくことが可能です。

